

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和6年3月20日

事業所名：しらゆりフレンドリークラブ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員、利用人数に対しての広さは確保できている。		活動内容に合わせて、構造化を図り安全面についても引き続き留意する。
	2 職員の適切な配置	利用人数に対して基準人員配置以上の配置をしている。		こどもの安全を確保するとともに、基準に沿って適切な人員配置ができるように留意する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用者が過ごしやすい配慮、工夫をしている。	施設内をじっくり見ていないので分かりません。	引き続き、環境に配慮した設備整備を努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日環境整備を実施し、心地よい空間を確保している。		衛生面に十分配慮して、安心安全な環境整備に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	出勤者は毎日ミーティングに参加し、目標の確認、改善点等について話し合っています。		引き続き、意見を大事にし、職員全体で積極的な参画を目指す。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状、第三者評価は実施しておりませんが、神戸市巡回支援を活用し、事業所外の意見をいただく機会を作っています。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人研修、所内勉強会、外部研修を実施、参加している。		外部研修以外にも、研修システムを活用し、同じ学びができる機会をつくり、資質向上の機会を積極的につくる。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童発達支援責任者を中心にチームとして計画を作成している。		年2回以上、ご家族の要望を伺い、ご本人にとって、よりよい支援ができるように努める。またご家族が話しやすい環境をつくり、一緒に考える時間を大切にする。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団の中の個の確立を大事にし、集団活動と個別活動を個々に設定し計画を作成している。		引き続き、個々にあった幅広い活動を提供する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	必要な項目を設定し、優先順位をつけて記載しています。内容についても面談時にお伝えしている。		5領域に沿ってより専門的に支援の手立てを考える。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適切な支援の実施を行うために、ミーティング、検討会議の時間をつくっている。		引き続き、支援計画に基づき室の高い支援を提供する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	年間カリキュラムを立案し、大別したプログラムを月案で利用者の状況に合わせて、チームでよりよい支援プログラムを検討、実施している。		様々なアイデアを出し、楽しみながらできるプログラムを柔軟に考えていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	個々の状況に合わせた支援を提供している。		引き続き、希望に即した支援を提供する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	日々のミーティング内で見直しをしている。	HUGシステムが導入されてから子供の写真は見れて良いけど、その分活動が見えにくくなってるのがします。	引き続き、また来たいと思える活動、環境を提供する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々のミーティング内で支援内容の確認、役割確認や活動準備をしている。		引き続き、確認を徹底する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日は振り返りと課題の整理、翌日のミーティング内で改善点を整理している。		引き続き、システムを活用し、情報共有の強化を実施する。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施			
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	システムを活用し、毎日の記録と状況と必要に合わせて、モニタリング、計画の修正を実施している。		支援システムを活用するとともに多職種の視点からよりよい支援を検討、提供できるようにする。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援責任者、担当職員が参加、連携を強化し支援の方向性を確認している。		引き続き、参画する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	相談支援事業所と連携し、情報共有や会議に参加している。		引き続き、ご本人、ご家族の意向を確認し、チームの一員に参画する。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	情報共有の機会や場に参加、必要に応じて書面でも情報共有を行っている。		引き続き、ライフステージに沿った支援を提供できるように努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者からのご要望や必要に応じてご提案し、同意を得てから情報の提供や場を参加し実施している。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連絡会や部会にて情報共有や研修の実施、参加をしている。		引き続き、積極的に参加、連携する。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	感染状況をみて同法人内の保育所や児童養護施設、児童心理治療施設の児童との交流が敷地内にて提供されている。	あまりそういう機会がある事は知らない 家族行事では障害のない子どもと活動できていると思いますが、児童館との交流はわかりません。 特に児童館の交流はやってないような感じがします。	法人内保育所と定期的に交流を計画、実施する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	夏祭り、クリスマス会の案内をSNSで発信している。		引き続き、状況に応じた対応で参加いただける機会を検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、変更時に実施している。		引き続き、丁寧な対応に努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談等の場で計画やモニタリングを活用し、説明をしている。		引き続き、丁寧な対応に努める。また顔を合わせた対応ができるようにする。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談支援の機会等で家庭できる配慮やかかわりを適宜伝えている。		希望に沿って計画、実施する。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時やHUGシステムを活用し、共通理解を計っている。	特定の先生は良く理解して頂いているが、最近先生が少ないみたいで忙しいので親もあまりコミュニケーションが取れないかもしれません。	引き続き、丁寧な対応に努める。また顔を合わせた対応をする。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施			
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	親子行事を実施している。	保護者会は以前はありましたが、最近はないように思います。最近保護者交流は少なくなってるような気がします。	座談会を計画、実施する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内にて閲覧できる冊子、掲示し窓口を明確化している。また苦情等あれば、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。	対処するにも難しいとは思いますが、引っ掻き傷がまだ何度かあり、先生方は気付いてないなどもう少し気にかけてほしいです。	迅速に対応し、所内にて共有・対応する。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	HUGシステムを活用し連絡ツールとして活用している。	ハグの活用がきちんとされていると思います。	引き続き、活用する。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	HUGシステム、フレンドリーだより、SNSを活用している。		引き続き、活用する。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取扱いについては契約時に説明し、留意している。	ハグに名前や生年月日等入力することがあり、アプリのセキュリティは大丈夫か気になった。	引き続き、留意し、職員間でも徹底する。システムについても業者と連携を図る。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは整備している。契約時に緊急時の対応については説明している。	マニュアルの説明はわからないが、お知らせで感染症の連絡はあり、避難訓練をしていることを聞いています。	避難訓練などフレンドリーだより等を活用し周知する。またマニュアルについても、事業所内にて、閲覧できるようにする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を毎月実施している。		引き続き、備えのための取組みを実施する。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会、身体拘束適正委員会を相談支援事業所と合同で開催している。全職員が研修を受講している。		引き続き、様々な虐待防止に関する取組みを実施する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当する事案はありませんが、契約時に説明、支援計画にも反映し、確認、了承を得ようにする。		必要に場合が生じる恐れがある場合は、事前に必要な手続きを手順に沿って対応に努める。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始時にアレルギー等の有無は確認している。希望に沿って可能な限り対応している。		引き続き、丁寧な対応に努める。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日のミーティング内にて、共有、分析、改善に取り組んでいる。		分析を行い、防止策を検討し、環境整備や業務、支援の向上に努める。